神奈川県の待機児童、4年連続減 4月1日時点220人

#神奈川 #関東

2022/6/16 19:45

神奈川県は16日、4月1日時点の県内の保育施設の待機児童数が220人だったと発表した。4年連続の減少で、現在の集計方法になった2002年以降で最少だった21年を86人下回った。保育施設の定員数が3559人増の17万7275人となるなど受け皿整備が進んだことが寄与した。

市町村別では鎌倉市が30人減と大幅に減らしたほか、大型の認可保育所を整備した海老名市も26人減と続いた。一方、茅ケ崎市はマンション開発などにより転入者が増えたことと、保育士不足が響き21人増えた。政令市は横浜市が5人減の11人、川崎市がゼロ、相模原市が1人減の3人となった。待機児童ゼロの自治体は18市町村だった。

保育園や認定こども園の利用申し込みをした人は17万7687人と2410人増えたが、利用児童も2651人増えており、希望する認可保育所に入れなかった保留児童数は7446人と241人減った。

神奈川県は22年度は保育所整備の支援を通じて3720人の定員増を目指している。保育士不足への対策として、短時間勤務の保育士雇用を支援する補助金や、保育士への職場復帰支援、月額約9000円の処遇改善に取り組むとしている。